

これからの 大学入試

大学入試センター試験を活用して



入試に個性と特色を。

各大学それぞれに特色ある入試の実現を。
大学入試センター試験は、その期待に応えます。



大学入試改善の方向。

大学入学者の選抜は、①大学教育を受けるにふさわしい能力・適性などの多面的な判定、②公正かつ妥当な方法、③入試のために高等学校の教育を乱すことがないような配慮、が基本的に重要だとされています。また、高校生段階にある受験生の幅広い人間形成にも十分留意して、それぞれの個性や能力、適性を大切にした画一的でない大学入試が、今まさに求められています。

大学入試センター試験を活用して。

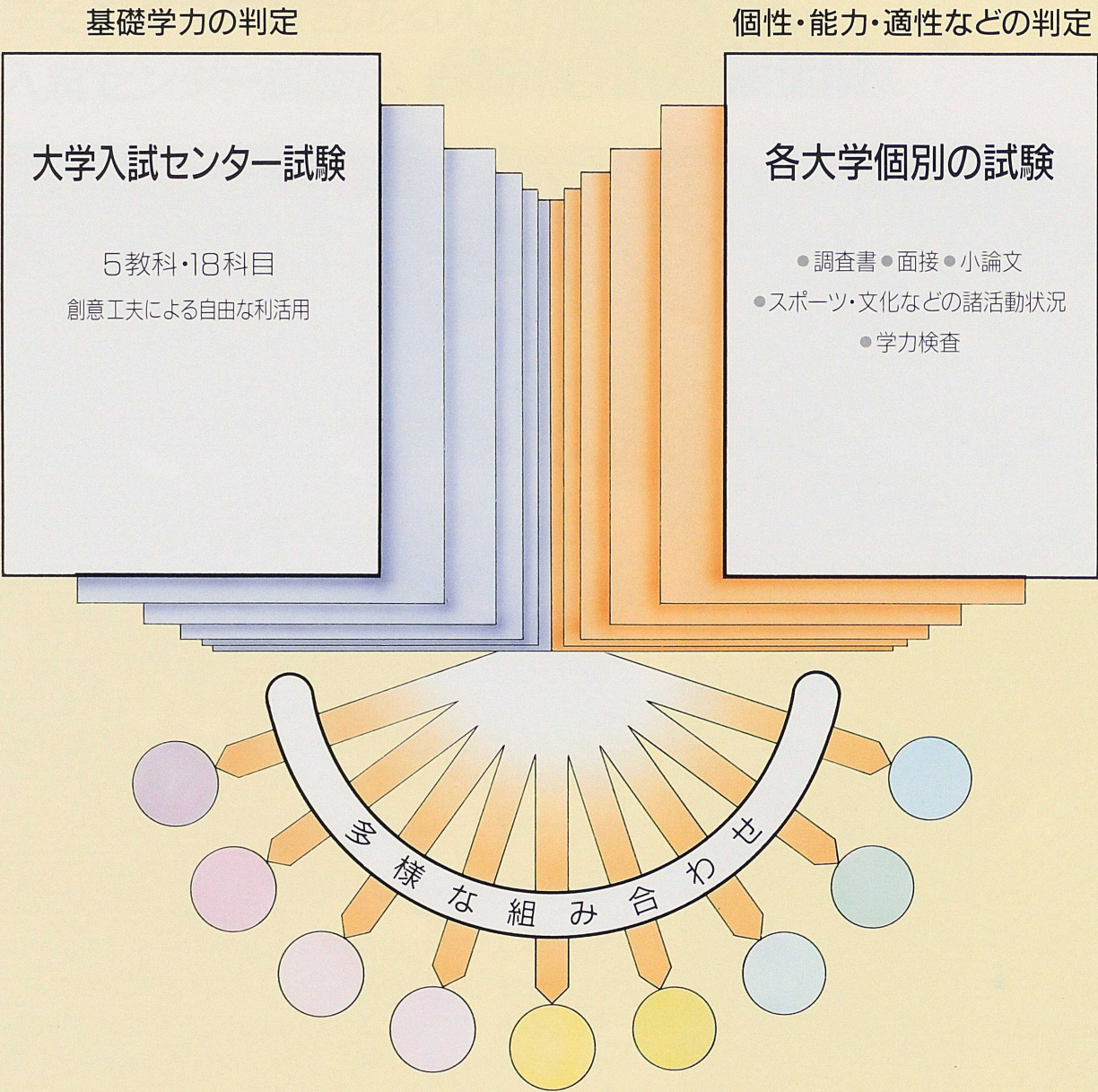
これまでも入試制度そのものや各大学の入試方法について、さまざまな改革・改善が積み重ねられてきました。平成2年度からスタートした「大学入試センター試験」は、これらの実績の上に立って実施されている入試制度です。この試験は、各大学の創意工夫により、さまざまな形で活用することができるものです。この試験を活用した積極的な入試の改善が期待されています。

国公立大学の枠を超えて。

各大学の入学者の選抜は、それぞれの学風、建学の精神に沿って、より个性的で特色のあるものとして実施されることが重要です。大学入試センター試験はこのような期待に応えます。この試験の趣旨や内容、実施結果などを、より多くの関係者の方に理解していただき、利用大学の輪が大きく広がっていくことが望まれます。大学入試の改善は、国公立すべての大学において着実に進められていくことが、何よりも大切と考えます。



各大学の特色ある入試をお手伝い。



各大学における特色ある入学者の選抜

大学入試センター試験は、
利用大学ごとの自由な活用が基本。

大学入学者の選抜の具体的なあり方は、各大学それぞれの自主的な検討に待つべきもの。大学入試センター試験は、このことを前提とし、各大学が独自の判断と創意工夫により自由に活用できるように考えられた試験です。受験生ひとりひとりの能力や適性などが多面的に判定できるよう、この試験の成績を役立てていただくのが目的です。

教科・科目の利用の仕方は
各大学の考え方次第。

大学入試センター試験の5教科18科目のうち、特定教科・科目のみの利用も、もちろん可能です。
また、調査書や面接、小論文、実技試験などと適切に組み合わせることで、各大学のカラーを鮮明に打ち出し、いわゆる輪切りや序列化に歯止めをかけることも期待されています。

(平成4年度の出題教科・科目)

- 国公立、すべての大学が利用できる学力試験です。
- 高等学校教育にそって、良質な試験問題を用意します。
- 出題科目は、各大学が利用しやすいよう工夫されています。
- 受験者は大学があらかじめ指定した教科・科目を受験することとなります。

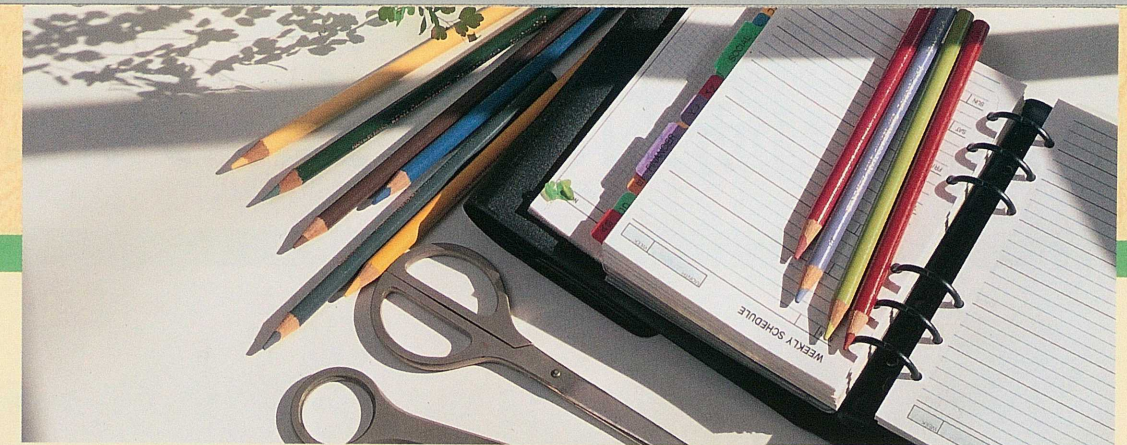
期 日	教科・科目	時間・配点	出題方法など	科目選択の方法など
平成4年 1月11日 (土)	外国語 「英語I・II」 「ドイツ語」 「フランス語」	10:00～ 11:20 (200点)		左の3科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「英語」のほか「ドイツ語」又は「フランス語」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申告する。
	数学(A) 「数学I」	12:50～ 13:50 (100点)		
	数学(B) 「数学II」 「工業数理」 「簿記会計I・II」	14:40～ 15:40 (100点)	「数学II」の電子計算機と流れ図は、出題範囲から除く。 「数学II」については、「数学II」を履修した者並びに「代数・幾何」、「基礎解析」及び「確率・統計」のうち2科目以上を履修した者のいずれにも対応した出題とする。 「簿記会計II」は、前半の内容(①特殊な取引の記帳、②帳簿組織、③株式会社の記帳)を出題範囲とする。	左の3科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「数学II」のほか「工業数理」又は「簿記会計I・II」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申告する。
	理科(A) 「物理」 「地学」	16:30～ 17:30 (100点)	「物理」、「地学」の出題には、「理科I」に含まれるそれぞれの関連内容を含む。	左の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
平成4年 1月12日 (日)	理科(B) 「化学」 「理科I」	10:00～ 11:00 (100点)	「化学」の出題には、「理科I」に含まれる関連内容を含む。	左の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	国語 「国語I・II」*	12:30～ 13:50 (200点)	「国語I」・「国語II」の範囲の近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。	
	社会 「倫理、政治・経済」 「日本史」 「世界史」 「地理」 「現代社会」	14:40～ 15:40 (100点)		左の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	理科(C) 「生物」	16:30～ 17:30 (100点)	「生物」の出題には、「理科I」に含まれる関連内容を含む。	

*大学によっては、「近代以降の文章」のみの指定もあります。



利用法いろいろ、メリット多彩。

平成3年度に実施された第2回の大学入試センター試験においては、
各国公立大学が、それぞれ創意工夫をしてこの試験を活用。
その成果については、さまざまな反響が寄せられています。



〔各大学での利用方法の一例〕

- 基礎的な学力を幅広く評価するため、5教科5科目を総合的に利用。
- 一般選抜の定員の一部分について、大学入試センター試験の特定の教科・科目を利用。
- 利用する教科・科目に幅を持たせ、受験者が得意なものを選択させて利用。
- 大学が独自に行う2次試験の成績評価の参考資料として利用。
- 調査書と大学入試センター試験で第1次の選抜を行い、その合格者について面接試験を実施。
- 工学部において、大学入試センター試験の数学・外国語を利用。2次試験は理科のみを実施。
- 定員の一部分について、大学入試センター試験と2次試験のうち、高得点のほうを合否の判定に使用。
- 推薦入試について、国語・外国語のみを利用し、2次試験として面接を実施。

〔実施によって得られた成果〕

- 大学入試センター試験を利用した選抜については、全科目に平均的な学力を有するオールラウンド型の学生が受験するなど、従来とは異なった層の学生を開拓することができた。
- 大学入試センター試験の利用により、今まで実施が難しかった小論文や面接を導入する余裕ができ、偏差値・輪切り型からの方向転換を図ることができた。
- 受験者が全国的に広がり、受験者数も従来より増加した。
- 大学のPRに役立ち、イメージアップが図れた。
- 工業大学ながら、女子の入学者数が従来の3倍以上という高率を示した。
- 同一大学・学部の入試チャンスが1回増えたことが受験生に好評であった。

〔平成4年度大学入試センター試験利用大学—166大学—〕

国立大学—95大学(全大学)

北海道大学 富山医科大学 島根大学
北海道教育大学 金沢大学 島根医科大学
室蘭工業大学 福井大学 岡山大学
小樽商科大学 福井医科大学 広島大学
帯広畜産大学 山梨大学 山口大学
旭川医科大学 信州大学 徳島大学
北見工業大学 岐阜大学 鳴門教育大学
弘前大学 静岡大学 香川大学
岩手大学 浜松医科大学 香川医科大学
東北大学 名古屋大学 愛媛大学
宮城教育大学 愛知教育大学 高知大学
秋田大学 名古屋工業大学 高知医科大学
山形大学 豊橋技術科学大学 福岡教育大学
福島大学 三重大学 九州大学
茨城大学 滋賀大学 九州芸術工科大学
図書館情報大学 滋賀医科大学 九州工業大学
筑波大学 京都大学 佐賀大学
宇都宮大学 京都教育大学 佐賀医科大学
群馬大学 京都工芸繊維大学 長崎大学
埼玉大学 京都大阪大学 熊本大学
千葉大学 大阪外国語大学 大分医科大学
東京大学 大阪教育大学 宮崎大学
東京医科歯科大学 兵庫教育大学 宮崎医科大学
東京外国語大学 神戸大学 鹿児島大学
東京学芸大学 神戸商船大学 鹿屋体育大学
東京農工大学 神奈川教育大学 琉球大学
東京芸術大学 奈良女子大学
東京工業大学 和歌山大学
東京商船大学 鳥取大学
東京水産大学
お茶の水女子大学
電気通信大学
一橋大学
横浜国立大学
新潟大学
長岡技術科学大学
上越教育大学
富山大学

公立大学—39大学(全大学)

釧路公立大学
札幌医科大学
福島県立医科大学
群馬県立女子大学
高崎経済大学
東京都立大学
東京都立科学技術大学
横浜市立大学
富山県立大学
金沢美術工芸大学
都留文科大学
岐阜薬科大学
静岡県立大学
愛知県立大学
愛知県立芸術大学
名古屋市立大学
京都市立芸術大学
京都府立大学
京都府立医科大学
大阪女子大学
大阪府立大学
大阪府立大学
神戸市外国語大学
神戸商科大学
姫路工業大学
奈良県立医科大学
奈良県立商科大学
和歌山県立医科大学
広島県立大学
広島女子大学
下関市立大学
山口女子大学
高知女子大学
北九州大学
九州歯科大学
福岡女子大学
長崎県立大学
熊本女子大学
沖縄県立芸術大学

私立大学—32大学(46学部)

八戸大学 商学部
東北工業大学 工学部
足利工業大学 工学部
白鷗大学 経営学部
*聖徳大学 人文学部
亜細亜大学 経営学部
*経済学部
*法学部
*国際関係学部
桜美林大学 文学部
慶應義塾大学 国際学部
慶應義塾大学 法学部
慶應義塾大学 医学部
昭和女子大学 文学部
*多摩大学 経営情報学部
東京工科大学 工学部
東京理科大学 理学部第一部
*薬学部
*工学部第一部
*理工学部
基礎工学部
東邦大学 理学部
*日本大学 生産工学部
日本歯科大学 歯学部
新潟歯科大学 歯学部
武蔵工業大学 工学部
新潟産業大学 経済学部
福井工業大学 工学部
*愛知大学 経済学部I部
愛知工業大学 経営学部
愛知工業大学 工学部第I部
*相山女学院大学 生活科学部
人間関係学部
中京女子大学 体育学部
家政学部
政治経済学部
松阪大学 文学部
*京都橘女子大学 工学部
*大阪電気通信大学 工学部
松蔭女子学院大学 文学部
流通科学大学 文学部
*作陽音楽大学 音楽学部
*美作女子大学 家政学部
産業医科大学 医学部
*福岡工業大学 工学部
*熊本商科大学 商学部一部
経済学部

*印は、平成4年度から利用



協議・協力し、スムーズに実施。

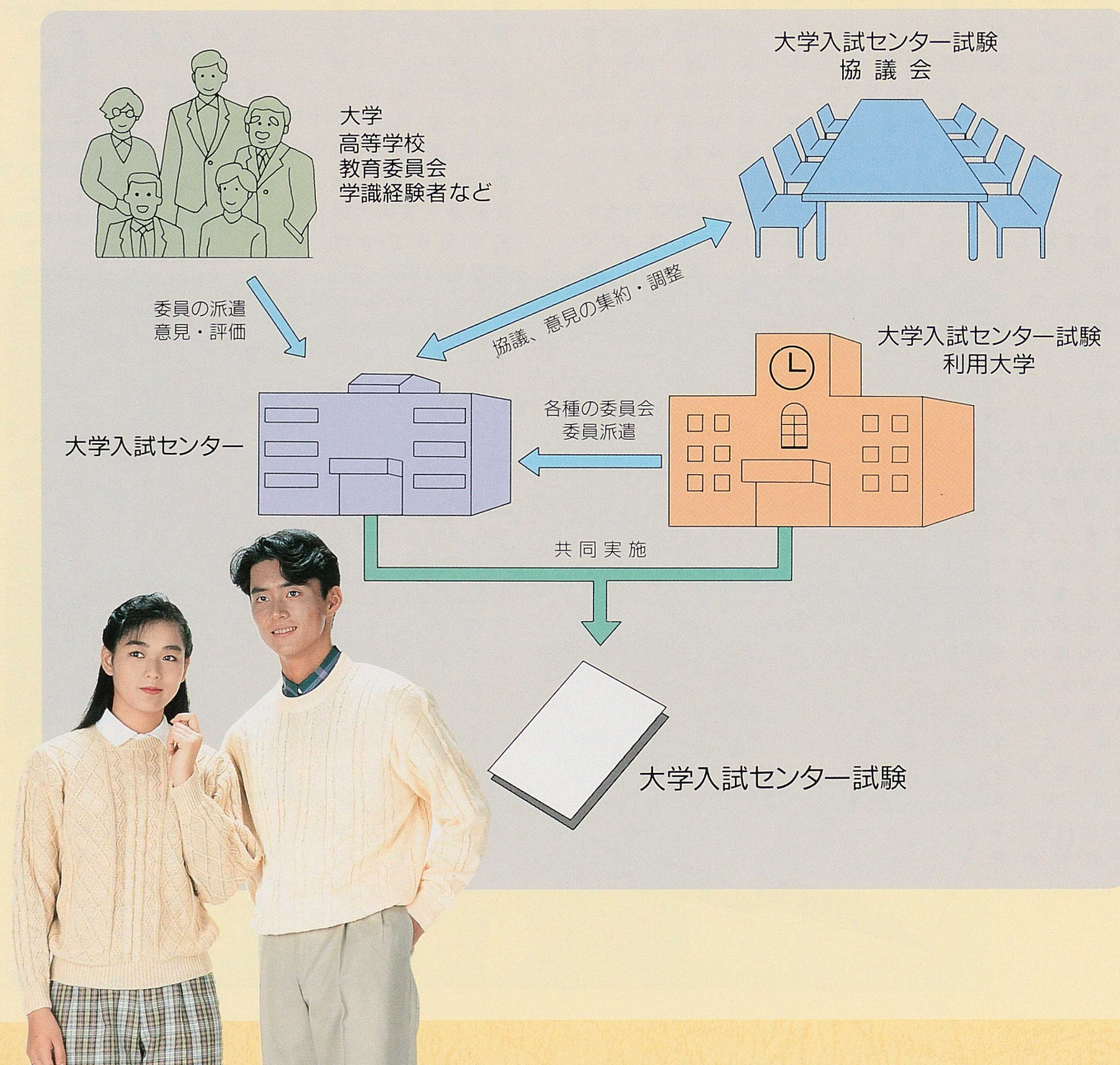
国公立の各大学が共同して試験の実施にあたります。

大学入試センター試験は、この試験を利用する国公立大学が大学入試センターと協力しながら、大学入学者選抜の一部として、共同して実施するものです。また、この試験に関し、国公立大学間でその改善や充実、及び意見の集約・調整などを行う協議組織として「大学入試センター試験協議会」が置かれており、試験実施に関する重要事項については、この協議会で慎重に協議を重ねたうえで決定されます。

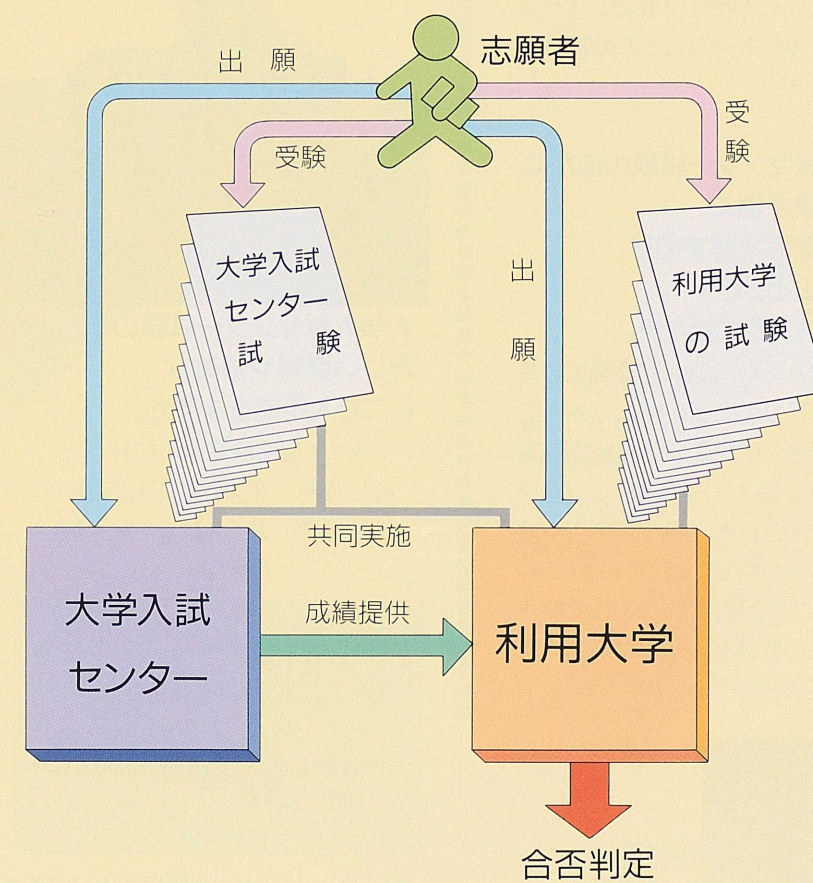
大学入試センターが試験問題の作成、答案の採点などを担当します。

大学入試センターは、主として問題の作成や印刷、答案の採点、集計など、試験の実施にあたり一括して処理することが適当な業務を担当しています。試験問題は、国公立大学の教員によって作成され、その内容については、学識経験者、高等学校関係者からの意見・評価を受けています。なお、大学入試センターの運営に関しては、各種委員会を通して各大学・高等学校関係者などの意見が十分に反映されるようになっています。

■大学入試センター試験の運営



■大学入試センター試験を利用した入試の仕組み



〈利用大学の役割〉

- 大学入試センター試験の利用教科・科目及び各大学の学力検査などの予告
- 試験場の設定、試験監督者などの選出
- 志願者への受験案内の配付
- 試験の実施
- 答案の整理、大学入試センターへの返送

〈大学入試センターの役割〉

- 試験問題の作成、印刷、輸送
- 受験案内、実施マニュアルなどの作成
- 出願の受付、試験場の指定、受験票の交付
- 答案の採点、集計
- 試験成績などの各大学への提供

◎検定料／3教科以上受験13,000円、2教科以下受験8,500円(予定)。

◎出願方法／高校卒業見込者は在学高校経由。高校卒業者は直接郵送。

◎試験場／原則として——高校卒業見込者は在学高校が所在する試験地区内の試験場。
高校卒業者は居住する試験地区内の試験場。



お答えします、大学入試センター



大学入試センター試験を利用する大学のメリットは何ですか。

大学入試センター試験は、国公立大学がわけへだてなく利用でき、しかも各大学の創意工夫に基づいて多様に活用できる試験です。そのため、独自の学風や建学の精神に基づいた特色ある選抜が可能となり、大学教育を受けるにふさわしいさまざまなタイプの優秀な学生が確保され、大学の活性化が図れるものと考えます。また、基礎的学力の判定をこの試験によることとすれば、受験生の能力や適性を多面的に判定する独自の試験を実施するゆとりが生まれ、入試の質も一層高まることが期待できます。



大学入試センター試験を利用した私立大学は、これをどのように評価していますか。

入試方法の評価は、長期的にみなければなりません。2回の大学入試センター試験を終え、この試験を利用した私立大学からは、「学力の高い学生が集まった」、「受験者が全国的に広がり、志願者数が増加した」、「オールラウンド型など従来とは異なるタイプの学生が入学するなど学生の多様化が図れた」、「同一大学・学部を受験チャンスが1回増えたことが受験生に好評であった」などの反響が寄せられています。

大学入試センター試験のほかに、利用大学が別に学力試験等を課すのは、受験生にとって負担ではありませんか。

大学入試センター試験は、受験生の基礎的な学習の達成度を判定し、各大学では調査書を活用したり学力試験・実技・面接・小論文などを実施して、これらを適切に組み合わせ、受験生の能力や適性を多面的に判定しようとするものです。したがって、負担加重というよりも受験生ひとりひとりの個性を重視した丁寧な入試をめざすものと考えています。

各受験生の成績はどのように扱われるのですか。

答えは、大学入試センターで一括して採点します。その成績は、受験生が受験した大学からの請求に基づき、その大学に対してのみ提供します。受験生に対しては、正解と配点は試験終了直後に、また、平均点・最高点・最低点などの結果は2月上旬頃に、いずれも報道機関を通じて発表します。



大学入試センター試験の詳しい資料や情報はどこで入手できますか。

平成4年度受験案内の配付
配付時期 平成3年9月2日(月)から
配付場所 大学入試センター試験利用大学

●問い合わせ先
大学入試センター事業第一課
☎03-3465-8600
(平日9時30分～17時、土曜日9時30分～12時)

●ハートシステム(大学進学案内)による案内
ハート情報センター 166-36155
(ビデオテックス通信網利用)

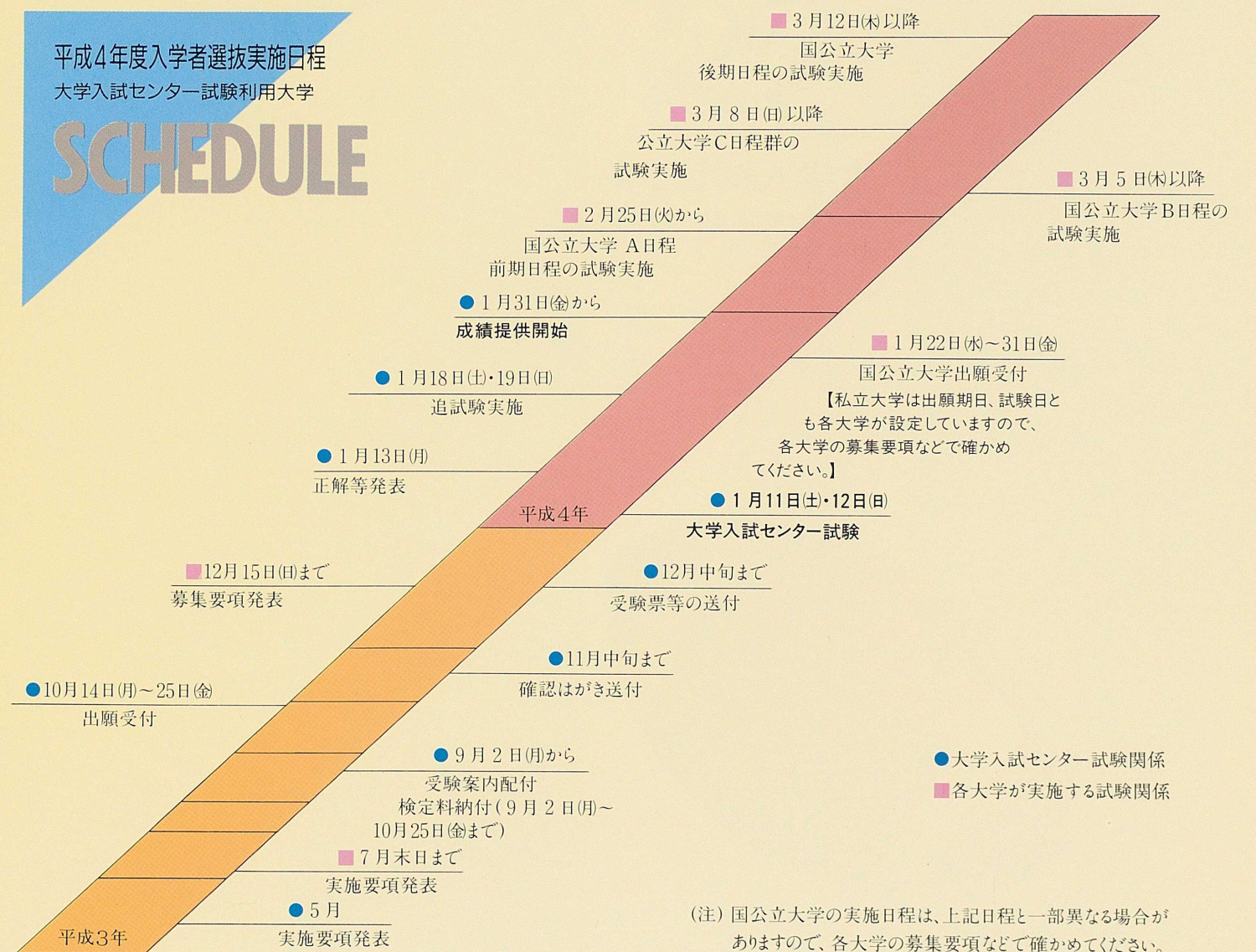


試験。



平成4年度入学者選抜実施日程 大学入試センター試験利用大学

SCHEDULE





文部省

大学入試センター

〒153 東京都目黒区駒場2丁目19番23号

☎03-3468-3311(代)



平成3年5月発行